

fukufukuLife

福知山 移住

ほどよく街で、ほどよく田舎

移住世帯数1.9倍！希望世帯数3.2倍！（2019年度比）
福知山移住、過去最高を更新しました！

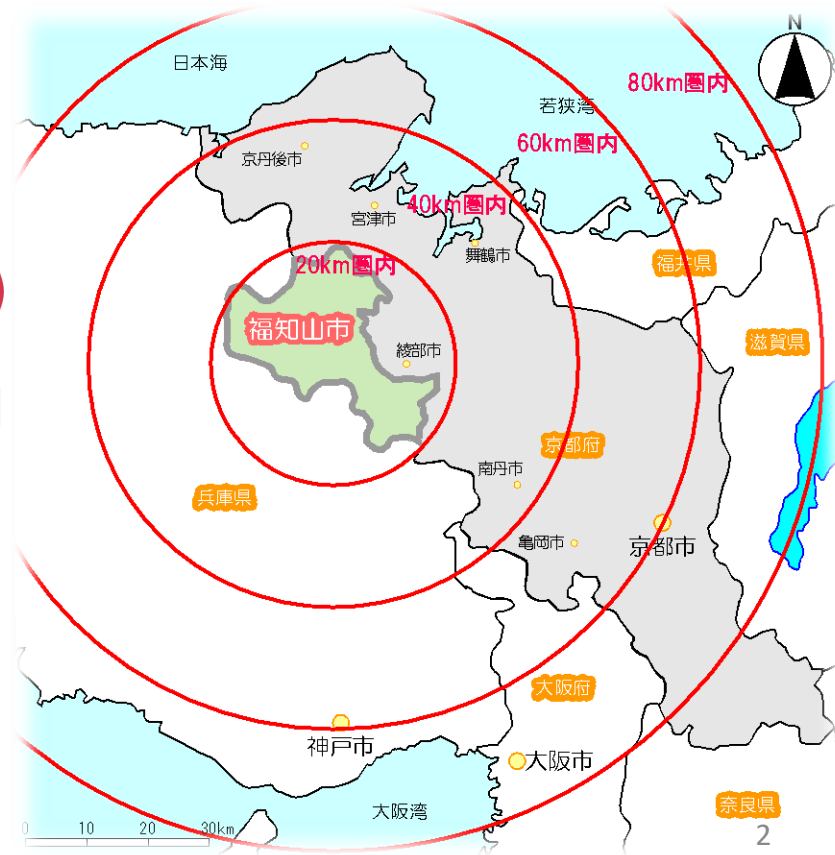
福知山市の概要

- 人口 76,584人(2021.4.1住民基本台帳)
- 面積 552.54km²
- 市制 1937年(昭和12年)～ 2006年(平成18年)～ 1市3町合併
- 立地 京都府の北西部に位置し、兵庫県と接する。北近畿地方の中央部に位置
- アクセス 京都市・大阪・神戸から車・鉄道で約1時間30分 商工業のまちとして発展
- ブランドメッセージ「いがいと！ 福知山」
- NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公 明智光秀ゆかりのまちとして、今も光秀が築いた福知山城やまちなみが残る。
- 主な観光資源
福知山城、明智光秀、大江山の鬼伝説、
スイーツのまち、肉のまち、農泊、丹後和紙、
由良川藍、丹波漆 など

福知山城



いがいと！
福知山



ふくふく暮らし 移住者マップ

京都1丹波

ふくふくLife

福知山 移住

地域の交流拠点

夜久野エリア
ものづくり系
林業、丹波漆



毛原の棚田 縁側喫茶



丹後和紙

大江エリア
元“鬼”系

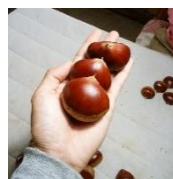
アート、そば打ち、古民家レストランなど、多様性が魅力



丹波漆



古民家を改装した「宮カフェ」



丹波栗

まちなかエリア
起業・クリエイティブ系
起業・創業、コミュニティづくり



明智光秀が好きすぎるオーナー



チャレンジショップ「アーキテンポ」



毎週水曜 かわいい野菜市



本好きのための「古本と珈琲モジャ」



新町商店街の活性化に取り組む若者たち



農泊を開業する移住者も多数



観光農園化、六次産業化も!



マッチ箱 アート



ミライト 中六



新規就農者が自然と集まる

三和エリア
農ある暮らし
就農・農泊

ふくふく暮らしの魅力

- **ほどよく街とほどよく田舎**のいいとこどりで二度おいしいまち
 - ・北近畿(京都府北部・兵庫県北部)の中核都市。
 - ・福知山駅周辺に雇用・教育・医療・買い物など生活に必要な施設がコンパクトに集積。
 - ・中心市街地から車で15分で田園風景に。農業、カフェ、農家民泊を営む移住者も多数。

【ふくふく暮らしのポイント】

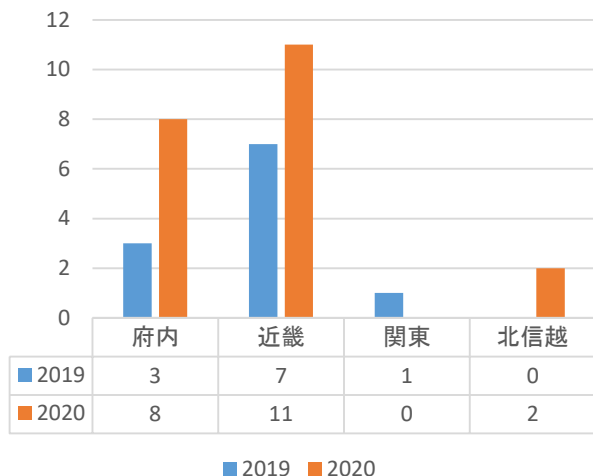
- 北近畿の中で最も教育の選択肢が多い。
 - ・福知山公立大学、高校7校(府立4校、私立3校) ※近隣市町は、高校が1～2校程度
- **北近畿の医療の拠点**となっている。
 - ・市立福知山市民病院は、地域がん診療連携拠点病院、地域救命救急センター、京都府災害拠点病院の指定を受けている。
- 子育て世代が住みやすい。
 - ・ **合計特殊出生率2.02(全国790市の中で京都府内1位、本州3位)**
※2013～2017年人口動態保健所・市町村別統計:厚生労働省
 - ・各種子育て支援策が充実している(別ページ参照)。
- 福知山市を起点にマイクロツーリズムが楽しめる。
 - ・新町商店街で毎月第4日曜日に福知山ワンダーマーケットを開催。
(現在は一時休止中)
 - ・福知山城(明智光秀が築いた城)、大江山の鬼伝説は人気。
 - ・福知山市の中心地から車で1時間圏内に遊び場がたくさんあり、海も山も楽しめる。
天橋立(日本三景)、伊根の舟屋群、城崎温泉などへ気軽にお出かけできる。



福知山ワンダーマーケットの様子

移住者の傾向と実績

空き家バンク制度を通じての移住世帯の前住所地



【全体の傾向】

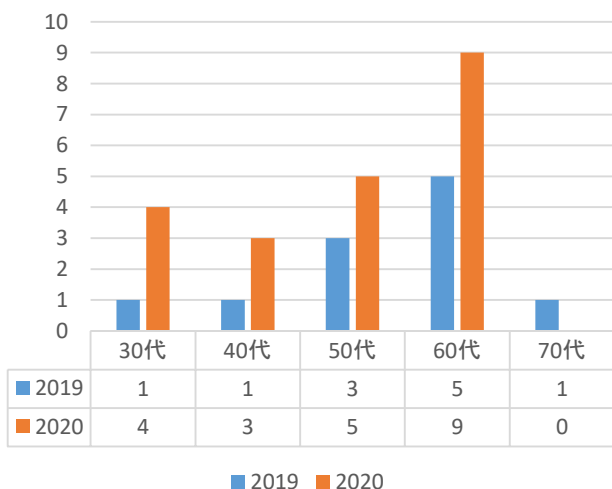
- 府内を含む近畿圏からの移住者が多い。
※移住を希望する方も同様の傾向がある。
- リタイア世代が中心だが、子育て世帯も増加傾向にある。

【過去2年度の実績比較】

- 移住希望世帯の増加(空き家バンク制度)
2019年度 73世帯(2019.4～2020.3)
2020年度 **238**世帯(2020.4～2021.3) ↑ 3.2倍
- 移住者の増加(空き家バンク制度)
2019年度 11世帯(2019.4～2020.3)
2020年度 **21**世帯(2020.4～2021.3) ↑ 1.9倍

地方移住への関心の高まりにより、実績は過去最高を記録。
都市の企業に属しながら福知山市で活動する「**2地域居住**」のスタイルを取っている方、**リモートワーク**の実践、専門的なスキルがあるなど、「**働く場所を選ばない**」移住者も増えている。

空き家バンク制度を通じての移住世帯代表者年齢割合



移住定住サポートセンター

- 2016年度から福知山市役所本庁舎2階に開設。
- 移住専門の相談員5名が移住相談を受け付け、地域や空き家の情報提供、先輩移住者の紹介などにより移住者をサポート。



福知山暮らし体感ツアー

- 移住希望者の「農泊を開業したい」、「農業をしたい」、「子育て支援施策について知りたい」、「アート関係者に会いたい」など様々なリクエストに応じてオーダーメイドで行程を組んで、半日から1日で市内を相談員が案内する。
- 実績 2019年度 16組実施 うち4組が移住
2020年度 5組実施 うち1組が移住



お試し住宅(市営)

- 三和町に2戸、大江町に4戸 合計6戸
- お試し期間は**最長1年間**まで利用可能。
- 最初の3か月無料。最大月額使用料は 17,400円。
- 公式HPにて随時公募。常に満室になるほど好評。
- 実績 20世帯利用 7世帯13名定住
(現在、5世帯利用中)



農山村地域空き家バンク制度

- 空き家を手放したい人と空き家を利用したい人をマッチング。
- 農山村地域のみを対象。市街化調整区域の一部は対象外。
- 「京都/丹波 福知山移住 FUKUFUKU LIFE」の公式サイトにて物件を公開(一部動画付き)。常時70件ほどがサイトに掲載されている。
- 新たに農地が取得しやすいよう2019年12月より、農地法第3条許可(農地取得)の要件を1㎡以上に緩和。
- 実績(通算) 延べ登録物件数 242件、成約物件数 112件



移住者へのサポート

- 住まいに関するもの
空き家バンク制度を通じて取得した物件について改修補助金などで移住者の「住」をサポート。
- 仕事に関するもの
新規就農者や起業・創業者向けの補助により「職」を支援。
福知山産業支援センター ドッコイセ! Bizにて、ビジネスの流れを変える、変革を支援。
- 暮らしに関するもの
地域協議会など地域団体が、空き家セミナーの開催、空き家の掘り起こしを行ったり、空き家の内覧立会や移住者交流会を開催するなど、移住者がスムーズに地域に馴染めるよう支援。



オンラインでの取組事例

2020年5月11日、緊急事態宣言発令により現地での案内をストップしたことを受け、若手職員の発案により実現。**Withコロナ、Afterコロナ時代の新しい生活様式にマッチしたサービス**を開始。対応可能アプリ: Zoom、Skype、Facetime

オンライン空き家見学

- タブレットを使って職員が現地で空き家案内を実施。
- 広角レンズ付きのカメラと照明器具を駆使して水回りなど細かなところまで案内してもらえると好評。
- 自治会長など地域の人にもナビゲーターとして登場し、物件だけでなく地域のことも気軽に聞けるのが嬉しい。**ドイツ在住の日本人ともオンライン内覧**を実施した。
- 実績 2020年度 7件 ※うち1件は商談成立。



オンライン移住相談

- リクエストに応じて、移住定住サポートセンター職員や地域の人が相談を受け付ける。
- 住まいや仕事のこと、まちのこと、気軽に相談できる。
- お互いの顔が見えるので安心感は抜群。**
- オンラインで福知山暮らし体感ツアーのリクエストをもらい、現地案内につながるケースもある。
- 実績 2020年度 7件
※うち2件は福知山暮らし体感ツアーへ

その他、2020年7月より、お試し住宅の入居希望者全員にオンライン面談を導入。事前に活動プランや移住後の生活について話し合うことでミスマッチを防いでいる。

子育て支援制度

●子育て総合相談窓口

妊娠・出産から就学前の子どもに関する相談や行政手続きを一括してサポート。

●子育て支援施設「すくすくひろば」

NPO法人おひさまと風の子サロンが未就園の子どもと保護者の子育てを支援。
特に市外から来た母親たちのコミュニティづくりに役立っている。

●相談しやすい環境づくりの充実

“子育てコンシェルジュ”が、子育て総合相談窓口・すくすくひろばに駐在し、保護者のニーズに合わせて子育て支援の情報や地域の情報を提供する。妊娠中からでも気軽に相談できる。顔が見える関係で安心感があると好評。



合計特殊出生率2.02の謎

出典:本州3位！合計特殊出生率2.02のまち福知山市の緊急企画アンケート結果(完全版)

▼調査概要 人数: 現在高校生以下のこどもがいる福知山市民100人(男女比半々)

方法: 2020年8月12日～18日 市内4か所(スーパー2か所、図書館、すくすくひろば)での街頭アンケート調査

事実！

◇府内1位の短さ！平均通勤時間18.3分 *1

◇市民の81.9%が市内で通勤・通学！ *2

◇大規模小売店施設数は府内2位！ *3

全国チェーンを含む商店や飲食店が集積

◇昼夜間人口比率は105.7%！ *2

福知山は他市の人も多く

通勤・通学・買い物に来る便利なまち

事実！

◇京都府北部で唯一！

「最後の砦」地域救命救急センターがある

◇京都府北部で最多！

病院・一般診療所の合計80施設 *4

◇三世代同居の数は高くない(6.4% *5)が、
近くに祖父母が住んでいる子育て世代は約7割 *6

事実！

◇過去10年で宅地建設が集中し人口上昇した
「子育て世帯が多い地域」が複数ある *7

◇若年層の人口移動が多いが、転入したての親子は
福知山市の「すくすくひろば」や「子育てコンシェルジュ」が地域とのつながりを持つきっかけに *5

• 1位 すべてが近い！

- 仕事、買い物、子どもの学校など
すべてが近いところに
まとまっている … 56%



• 2位(同率)医療が充実！

• 2位(同率)近くに家族！

- 病院が近くにあり、
こどもが病気やけがをしたときも安心 … 53%
- 家族や親戚が近くに住んでいて、
子育てに協力してもらえる … 53%



• 4位 子育て世代が多い！

- まわりに子育てしている人が多く、
情報交換や悩み相談ができる … 51%

回答した市民の半数は、この
事実を知らない。
けれど、子育て世帯は、経験
的にまわりにきょうだいが多
いということは知っている。

福知山市が全国的に見ても稀な「合計特殊出生率が高いまち」だと知っていましたか？はい48% いいえ52%

その他参考資料:「出生数や出生率の向上に関する事例集」2019年3月 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局

福知山市廃校マッチングバスツアー

- 2020年10月20日、11月23日、資産活用課が、京都銀行及び京都北都信用金庫と連携して廃校になった市内の小学校(2日間で計6校)をめぐる無料のバスツアーを実施。
- 関西圏を中心に、廃校活用に関心のある事業者が79名が参加した。
- 旧中六人部小学校でIoT技術を活用したイチゴ栽培に取り組んでいる事業者(THE 610 BASE)も見学した。



バスツアーの様子

じわじわと人気 里泊マップ

- 「コンビニ？ ないよ、ここはノーソン。」のユニークなキャッチコピーで、福知山市内の16の里泊やゲストハウスを紹介している。福知山市は、教育民泊やアグリツーリズムの推進にも取り組んでいる。

<https://www.welcomeiju.city.fukuchiyama.lg.jp/events/satohakumap/>



福知山で活躍する移住者 紹介①



○森口和真さん(新規就農、Iターン、子育て)20代
福知山暮らし体感ツアーがきっかけで、2020年9月、京都市から家族4人でお試し住宅に入居。三和町の風景が気に入って移住。移住当初から就農を希望。現在は、地域の特産「三和ぶどう」を生産に携わる。地域住民との交流や家族の時間を楽しんでいる。



○堀代知さん(地域のお試し住宅、孫ターン)30代
2020年4月、長野県軽井沢町から祖父母宅のあった福知山市に孫ターン。2021年3月、中六人部地域づくり協議会と協力し、福知山市初の地域のお試し住宅を開業。大阪と福知山を行き来する2地域居住を実践。



○田中良子さん(伝統産業、Uターン)20代
2020年2月から、国内外で高評価を得ている丹後和紙の後継者として和紙づくりの修行を開始。200年の伝統を大切にしつつも、現代のライフスタイルに合わせた和紙の在り方を追求するのが目標。
丹後和紙 <https://www.tangowashi.com/>

福知山で活躍する移住者 紹介②



○クリエイティブディレクター・コピーライター 公庄 仁さん
(二地域居住、テレワーク)40代

2020年3月、コロナ禍で関東圏から移住して、テレワークを開始。福知山市内にて以前からの仕事を続けている。その時の気分によって、福知山市内のあらゆる場所で「働く場所にとらわれない」リモートワークを実践中。



○イラストレーター 安岡恵美里さん(テレワーク)30代
2020年10月、鳥取県鳥取市からお試し住宅に入居。移住前からのイラストレーターとしての仕事を続けつつ、地元のこだわりの有機農家86farmが経営するパン屋「まころパン」のパッケージやラッピングをプロデュース。FUKUFUKU LIFEのロゴマークのデザインも手掛ける。



イシワタ マリさん 30代
山山アートセンター代表
子育て、1ターン



増茂 友美さん 30代 TOMTOM NATURAL MARKET代表
増茂 匠さん 30代 杜ノ匠ノ代表
起業、子育て、1ターン



沢田 さやかさん 40代
農家民宿ふるま家
子育て、1ターン、インバウンド

他にも、週末農業、ママ友サークルの運営、まちなかビジネスなど個性的なふくふく暮らしを楽しんでいる移住者がたくさんいます。詳しくは、FUKUFUKU LIFE公式ホームページの移住者インタビューをご覧ください。

移住者を温かく迎えるキーパーソン



○夜久 早百合さん

夜久野みらいまちづくり協議会の移住部会の中心人物。やくの高原まつりなどの地元密着の大規模イベントを手掛けてきた。夜久野町の古民家を改装した「宮カフェ」を手伝っていて、若い移住者の相談にも乗っている。夜久野町でゲストハウスの開業を検討している。



○櫻井 一好さん

日本の棚田100選で知られる大江町毛原地区で「ゲストハウスサライ」を経営している。自治会長として地域活動に従事する傍ら、毛原の良さを伝えるため、毛原地区の関係人口づくりに情熱を注ぎ、都市部から人を呼ぶイベントなどを年間を通じて企画している。



○鈴木 恒平さん、圭さん

三和町のお試し住宅への入居がご縁で、そのまま三和町に定住した。圭さんは、三和町川合を中心に交流イベントを企画し、集落支援員として活動するなど、先輩移住者として移住者を迎える側になっている。恒平さんは、冬場はスキー場でバリスタとして働くなど、2地域居住を実践している。

ほどよく街で、ほどよく田舎



参考URL

京都/丹波 福知山移住 FUKUFUKU LIFE(公式HP)
<https://www.welcomeiju.city.fukuchiyama.lg>
空き家バンク制度、移住者インタビュー、お試し住宅、
イベント情報を掲載。

福知山

Twitter



Twitter アカウント名

FUKUFUKU LIFE 京都/丹波/福知山移住

いがいと!

ホームページ

